

物流技術管理士資格認定講座 2016年度結果報告（その1） ～新たに382名の物流技術管理士が誕生！～

2016年度の物流技術管理士資格認定講座は、2017年3月24日（金）の第123期認定証授与式をもって全日程を終了いたしました。2016年度は、新たに382名の物流技術管理士が誕生し、資格取得者累計は10,489名となりました。ここでは、2016年度に開講した第119～121期の各期にて最も優秀な成績を収められたみなさんの、本講座を受講しての感想をご紹介します。（第122、123期につきましては、次号でご紹介いたします。）

第119期（2016年5月11日～2016年10月28日：東京開催）

日本通運㈱ 野口 真知子 氏

1. 受講目的

私は物流会社の営業というポジションにいますが、お話をする荷主様の物流レベルが高いことや、求められる物流品質が非常にシビアになってきていると感じておりました。荷主様の抱える物流課題に対し、解決のための選択肢を増やすこと、今とは別視点のアプローチができるようになるために、本講座を受講しました。上長からは、本講座を通じ、分析値や改善手法を用いて論理的に具体的解決策を実行する課題解決力を高められるよう、期待をされていました。



2. 本講座を受講して有用だったこと

物流に関する専門知識やマネジメント技術を体系的に学び、“勘”と“経験”と“度胸”に頼らないロジスティクスの構築が今後さらに重要なことを感じました。グループワークでは、お客様の経営視点にまで踏み込んで横断的な改善提案をし、新しく物流拠点を設ける提案をするといった面白い課題で、時間が足りなくなるほど議論が盛り上がりしました。自身の業務にすぐに活用できる内容ばかりであり、分析手法や改善例は大変参考になりました。

この講座で学んだことや得た人脈も、もちろん私にとって素晴らしい財産になりましたが、同時に、改めて物流という仕事の面白さに気付くことができ、この仕事の奥深さと魅力を再確認することができた機会でもありました。

3. 今後の抱負

私にはまだ早いのでは、と受講前は躊躇しておりましたが、上司に勧めていただき、同僚のフォローもあって、無事に約半年間の講座を修了することができました。いただいたチャンスに感謝をしながら、学んだことを生かして、会社・そしてお客様に還元していけるよう、ますます頑張りたいです。

第120期（2016年6月8日～2016年12月2日：大阪開催）

若松梱包運輸倉庫㈱ 飯草 和也 氏

1. 受講目的

弊社は北陸・中京エリアで共同配送を業とする物流会社です。お客様は300社を超え、輸送温度帯も4温度帯（冷凍・チルド・菓子・常温）に渡ります。私は配車部門の責任者として、本講座においてマネジメント技法やロジスティクスに関する知識を体系的に学習することを熱望していたことと同時に、弊社も社員のレベルアップおよび後継者育成等を施策の一環としていたことで選拔され受講に至りました。



2. 本講座を受講して有用だったこと

受講目的に合った講座内容であったことは言うまでもありません。受講期間中に同期や講師の方々と親交を深めることによって、自社や自分の伸びしろを知ることができたことです。未知の分野を勉強することにより今の自分に必要な知識や経験が可視化され、業務改善へのアプローチへと繋がりました。

3. 今後の抱負

資格取得がゴールではなく、講座を通じて修得した知識やスキル、そして人的ネットワークを活用し、今後お客様に対して最高の物流サービスを提供できるよう、日頃の業務を通じてさらなる研鑽に励みたいと存じます。

最後に、私にステップアップの機会を与えてくださった会社と講座期間中に業務をフォローしてくれた同僚、並びに同期の方々にあらためて感謝申し上げます。

第121期(2016年9月7日～2017年3月10日:名古屋開催)

日本通運㈱ 撰 幸昌 氏

1. 受講目的

日々の業務の改善を考えるにあたり、自分の経験則に基づいた解決に限界を感じ、何か新しい考え方、発想法はないかと思っていました。そんな時、本講座の内容が目に留まり、科学的な分析手法や改善の方法を体系的に学べることを知り、まさに自分の求めていることが学習できるのではないかと



と思い、受講することを決めました。

2. 本講座を受講して有用だったこと

まずは、それぞれ第一線で活躍されている講師の方々から様々な分析・問題解決手法や改善に向けた考え方を学び、また講座内の演習やグループワークで活用する手法まで教えていただいたこと。次に、レポートや論文作成を通じて、他人に読まれることを意識した文書を作成する習慣がついたこと。そして、何より6か月間の講習期間を通じて、様々な業種の方と交流することができ、人的ネットワークが大きく広がったことの三点です。

3. 今後の抱負

6か月というこの長い講習を乗り切り、無事資格が取得できたのは、指導いただいた講師の皆様、共に学んだ同期の皆様、お世話いただいた事務局の方々、そして不在の間フォローいただいた職場の皆様のおかげと深く感謝しております。この感謝を忘れず、講座を通じて学んだ知識を、現場の改善に活用し、実践していきます。

2016年度開催報告

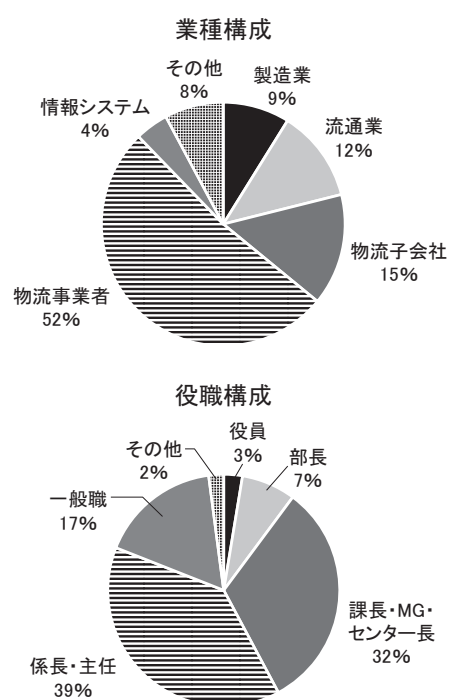
2016年度開催概況／「物流技術管理士」認定者数

開催期	開催地区	開催期間	認定者数
第119期	東京	2016年5月11日～2016年10月28日	124名
第120期	大阪	2016年6月8日～2016年12月2日	52名
第121期	名古屋	2016年9月7日～2017年3月10日	40名
第122期	東京	2016年9月14日～2017年3月17日	116名
第123期	大阪	2016年10月4日～2017年3月24日	50名



グループ討議

2016年度受講者データ



物流技術管理士資格認定講座 2016年度結果報告（その2）

物流技術管理士 総代の声（第122期、第123期）

本誌2017年夏号に続き、2016年度開催の物流技術管理士資格認定講座を卒業された方々の受講の感想を掲載いたします。今回は第122期（東京開催）、第123期（大阪開催）で優秀な成績を収められたお二人です。

第122期（2016年9月14日～2017年3月17日：東京開催）

（株）バンダイロジパル 志村 咲氏

1. 受講目的

私は物流現場改善、業務プロセス改善を推進する部署に所属しております。現業に必要な改善手法や拠点管理などの知識をさらに深めること、今まであまり関わりのなかった分野の知識をこの機会に修得することを目的に、本講座を受講しました。



2. 本講座を受講して有用だったこと

本講座では知識だけでなく、ロジスティクス業界の第一線で活躍されている講師の貴重な経験談なども多く聴講することができ、大変有意義でした。また講座中に多くのグループ演習があり、様々な物流に携わる人との関わりの中で改めて自社や自部門の業務について振り返ったり、今までに得た知識を実践として使う練習ができたこと、とても密度の濃い時間を過ごしました。今後の実務に必ず有用であると感じています。

3. 今後の抱負

物流を取り巻く環境が年々厳しさを増していく中で、物流のあり方や物流会社に求められることも今後目まぐるしく変化していくことが予想されます。今後もいろいろな業務に携わっていきと思いますが、本講座で学んだことを活かし、広い視野と柔軟な発想をもって物流業界に貢献していきたいです。講師の方々、同期の皆様、上司、多くのアドバイスを頂いた社内外の物流技術管理士の先輩方に、お世話になりましたことを深くお礼申し上げます。

第123期（2016年10月4日～2017年3月24日：大阪開催）

日本通運（株） 西岡 憲史氏

1. 受講目的

職歴を重ねる中で、お客様と協働で物流改善に取り組む機会が増えておりました。お客様の期待に応えるには、職務を通して得た知見だけでは不十分であり、幅広い知識と、科学的な改善技法の修得が必要だと考え、受講に至りました。



2. 本講座を受講して有用だったこと

まずは、幅広い知識を体系的に整理して修得できたことです。新たに修得できた知識は大変有益でした。次に、演習を通して修得した知識の使い方を学ぶことができました。改善のファーストステップである「問題発見」でさえ、本質を捉える難しさを理解できました。最後に、同期受講生の方々からも、実践で活用できる貴重な知恵を得ることができました。

3. 今後の抱負

当社グループの企業理念に、「物流から新たな価値を創ること」があります。この理念を実践するには、常に新しいことに挑戦し続けることが求められます。多くの問題と対峙することが予想されますが、本講座で学んだ知識を活用することで対処できると確信しています。そして、物流を通して社会に貢献できるよう努めて参ります。最後に、ご指導頂きました講師の方々、手厚くサポート頂きましたJILS事務局の方々、苦勞を共にした同期の皆様、期間中にフォロー頂いた上司と同僚に感謝申し上げます。

本年度の当講座は東京2期、大阪2期、名古屋1期の計5期開催しております。そのうち第124期東京開催は9月に無事全講義を終了し、10月27日に資格認定証授与式が行われました。第125期（大阪開催）以降は現在も開講中です。現在ご受講中の皆様、物流技術管理士資格取得に向け、最後までがんばってご受講ください。